

新規就農先輩の軌跡 No.86

新規就農者の素顔	農業経営の状況(現在)
 <p>氏名:野世 英子(のせ ひでこ) 住所:豊岡市但東町奥矢根 年齢:45歳</p>	<p>栽培面積:5.0ha 経営内容:水稲(コシヒカリ・赤米)、赤米 使用石鹼の加工・販売 労働力:本人、夫 出荷先:直接販売、JA等</p> 
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>2008年 義父の農業を手伝う 2009年 就農し、水稲栽培を開始 人、自然にやさしいお店 moko を開設 2013年 コウノトリ育む農法に取り組む コウノトリ育む農法の赤米の糠を使用した石鹼『こうのとりのり紅白石けん』を商品化 2014年 兵庫県環境にやさしい事業者賞を受賞 2015年 『こうのとりのり紅白石けん』が五つ星ひょうご選定商品に認定 2016年 現在に至る</p>	<p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の恵みを日々感じることが出来ます。 ・お客様に喜んで頂けたとき、農業に取り組んで良かったといつも思います。 ・家族で支え合いながら、米づくりできることが嬉しいです。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術や機械操作を覚えるのに必死でした。 ・農業と家事が両立できるようになるまでが大変でした。
農業をめざした動機	後輩へ贈る言葉
<p>子ども3人の出産後、体質変化による肌トラブルがおこり、自分の体にあう無添加の石鹼づくりを始めました。</p> <p>石鹼づくりについて研究するにつれ、より安全で安心な原料で石鹼を作りたいと思い、赤米を自ら無農薬で栽培することを決心しました。</p>	<p>農作業は体力的に大変ですが、自然から感じるエネルギーや美しさは人を元気にさせます。</p> <p>ぜひ、出来ることからチャレンジしてみてください。</p>

- 2008年 義父の農業を手伝う
- 2009年 就農し、水稻栽培を開始
人、自然にやさしいお店 moko を
開設
- 2013年 コウノトリ育む農法に取り組む
コウノトリ育む農法の赤米の糠を使用した石鹼『こうのとり紅白石けん』を商品化
- 2014年 兵庫県環境にやさしい事業者賞を受賞
- 2015年 『こうのとり紅白石けん』が五つ星ひょうご選定商品に認定
- 2016年 現在に至る